

大分県の入札制度概要 (建築一式工事の標準例)

設計金額 (予定価格)	発注・格付基準	入札方式	落札者決定方式			設計金額 (予定価格)		
23億円	特定JV (共同企業体) ※仮契約、議会承認後に本契約	一般競争入札	低入札価格調査適用 ※調査基準価格概ね90% ※失格基準概ね81%	総合評価落札方式 (個別設定)			23億円	
5億円	A等級 (特定建設業許可) ※一億円以上の工事でJV適用拡大	(要件設定型) 一般競争入札		総合評価落札方式 (施工計画等評価タイプ) <標準型> <WLB推進型>	施工計画 30点 実績 20点 計 50点	課題 3題	5億円	
3億円					施工計画 20点 実績 20点 計 40点	課題 2題	3億円	
2億円					施工計画 10点 実績 10点 計 20点	課題 1題	2億円	
1億円				総合評価落札方式 (施工実績等評価タイプ) <標準型> <WLB推進型>	実績 10点	課題なし	1億円	
8,000万円	A等級	指名競争入札	最低制限価格適用 ※最低制限価格概ね90%	価格競争のみ			8,000万円	
7,000万円	B等級						7,000万円	
4,000万円							C等級	4,000万円
3,000万円								3,000万円
1,000万円	D等級	随意契約	適用なし				1,000万円	

※ 「発注・格付基準」は建築一式の例である。総合評価落札方式の詳細は入札公告による。

※ 総合評価落札方式の課題数は予定価格からの定めた上限数である。

※ 総合評価落札方式については、上記加算点のほかに、入札金額に応じて施工体制評価点15点を与える。

※ 総合評価落札方式(施工計画等評価タイプ)の適用は、原則、予定価格2億円以上の工事とする。

ただし、予定価格1億円以上2億円未満の工事のうち、「技術提案を求める必要性の高い工事」においては、「施工計画等評価タイプ」を適用する。